



塔村俊介 議員

加速化交付金事業の狙いは

町長

新たな仕事をつくり
雇用の拡大を目指す



地方創生の目玉の一つである加速化交付金は1市町村あたり最大8千万円まで事業申請できる。奥出雲町が申請している伝統産業、観光産業振興事業の狙いは、

「たたらを起因にする伝統産業の再生、ブランドの確立、観光振興により新たな仕事をつくり、雇用の拡大を目指すもの」である。

地方創生は地域が残るかどうかが分かれ道で、ここ数年で必ず奥出雲町は残るんだという明確なビジョンと実績を残さなければならぬ。

「たたらをメインにするのは共感できる。観光には、体験、美味しいもの、お

土産が重要だが、奥出雲に行ったよという土産が弱く、開発が必要である。日本刀や包丁といったものを付加価値を持たせ売れる計画はあるか。

計画採択後、玉鋼や和鉄でつくるものなど、デザイナー等と協議しながら本場にお土産になるものを検討していく。

先日、数量限定で発売された玉鋼そのものを土産にすることも検討を、しまね留学加速化事業の狙いと今後の横田高校の魅力化の展開は、

「離島、中山間地の高校の広域連携によって、県外募集の強化を図る。横田高校の魅力化は、まちが丸となって取り組み、目指す将来像を共有し、実践的な体制と役割分担を明確にし、効率的でスピード感のある事業にしていく。」

このままでは雲南圏域で将来的にはどこかの高校はなくなる可能性がある。明確な実績が必要。

例えば、日南町へのバス路線を生山まで延長することにより、日南中の生徒を呼べる可能性もある。豪華寝台列車「瑞風」も停車する駅であり、魅力的であると思うが考えは、

「以前は、阿蘇から伯備線を利用する人も結構おり、検討に値する。」

例え、日南町へのバス路線を生山まで延長することにより、日南中の生徒を呼べる可能性もある。豪華寝台列車「瑞風」も停車する駅であり、魅力的であると思うが考えは、

奥出雲町	仕事づくり	7,550
飯南町	加工品輸出等	7,000
美郷町	人材産業育成	6,700
邑南町	里山拠点化	3,216
津和野町	高齢者見守り	5,000
海士町	異分野協働	7,000
西ノ島町	水産資源活用	5,116

県内町村の加速化交付金採択分の内容と金額
※単独町村分のみ（単位：万円）

「昨年取り組んでいるヘルスケアビジネスについて、大人のそばん教室は好評で、来年度も継続予定とのこと。取組みを全国に広げ、そばんが産業として残っていくことが大事だと思う。そばんビジネスの今後の展開は、

「そばん教室をきっかけに、認知症予防効果、介護予防で福祉施設に取り入れられ、需要が拡大することを期待している。地方創生加速化交付金でも、新商品開発や販路開拓など業界とともにそばん産業支援に取り組み。」

「統一した仕組みをつくり、そばん教室の先生と組めば、全国へ広がっていく可能性がある。新商品についても、高齢者が使いやすいであろう色や大きな玉などの商品開発も検討してほしい。」

健康や医療に対する意識を高める一つの方法として、中国地方の町村初となる骨髄移植ドナー支援事業の創設を、

「当面は県の事業を活用し、雲南保健所とともにドナー登録の啓発に一層努めたい。」